

～地域唯一の若手専業農家として地域農業を守りたい～
露口 真人さん（東温市（旧重信町））

東温市青年農業者協議会 監事
東温市農地利用最適化推進委員
牛漕下井出土地改良区 理事
1974 年生まれ



☆経営概況☆

経営形態 家族経営（家族経営協定）
経営品目 施設花き 410㎡（デルフィニウム、キンギョソウなど）
施設野菜 450㎡（ミニトマト、リーフレタス、セロリなど）
露地野菜 20a（ブロッコリー、かぼちゃ）
水稲 80a（酒米、うるち米）
労働力 父、母、本人、妻の4人

☆ここがポイント☆

■就農のきっかけ

父親が県内の花き農家のリーダーとして新品種導入や栽培技術の改良に取り組む姿を幼い頃から見て育ちました。また、花のハウスは子供の頃の遊び場の一つで、気が付くと農作業の手伝いをするようになっていました。大学を卒業したあとは、会社勤めをしていましたが、**花のことが忘れられず、結婚を機に就農**しました。

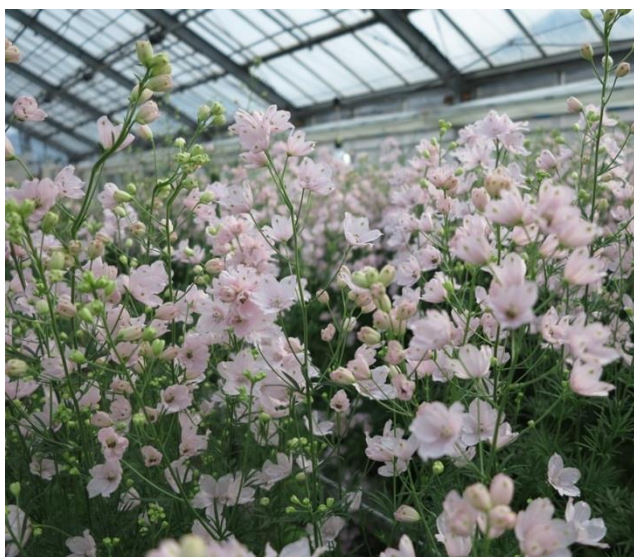
■デルフィニウム「さくらひめ」に魅せられて

私は、愛媛県が育成した**デルフィニウム「さくらひめ」**の可憐なピンク色に魅せられ、県内でもいち早く導入しました。県の普及指導員らの指導のもと、冷房育苗や電照などの新技術も取り入れ、東京、大阪、北海道などに出荷しています。

また、県の営業本部のプロモーション活動の一環で、東京の日比谷花壇では私が作った「さくらひめ」が展示・販売され、お客様の反応も上々だったようです。

■野菜栽培のこだわり

野菜は、**天然由来の肥料に化学農薬の使用を削減した栽培法**で、一部は地元のイタリアンレストランにも卸しています。

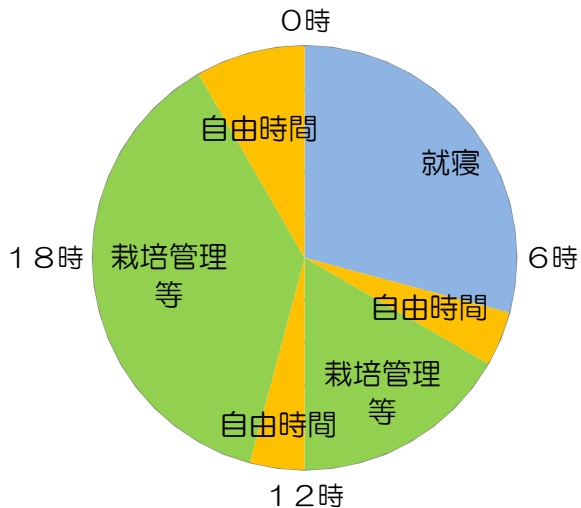


収穫期の「さくらひめ」



日比谷花壇（東京都）での展示・販売

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】
 東温市青年農業者協議会に入って、仲間と情報交換するのが楽しみの一つです。
 また、地域のイベント（どてかぼちゃカーニバルなど）にも積極的に参加し、消費者の方々との交流も大切にしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日）					
← 栽培管理・収穫・出荷 →						
【普通期】	← 栽培管理 →				休日	← 栽培管理 →

※出荷最盛期以外は比較的自由時間があり、余暇を楽しんでいます。



さくらひめ栽培研修



どてかぼちゃカーニバル

☆これからの夢や目指すもの☆

全国の人に「さくらひめ」が愛される花として定着するよう、栽培技術に磨きをかけるとともに一生懸命PRしていきます！

また、私の地域は県都、松山市まで車で 20 分程度のところにありますが、農業者は減少し、農地の荒廃も散見されるようになりました。みんなで一緒になって、地域の農業が将来に渡って続くよう守り続けたいと思います。

☆メッセージ☆

一緒に「さくらひめ」作りませんか！